



だから、問題が解けない、つまり解法の流れを設計できないときは、

- ・問題文から情報がくみ取れない
- ・その情報を利用するためのデータベースをもっていない

のいずれか、あるいはその両方になります。とりわけ、データベースをもっていないときは解法の糸口さえ見つかりません。

## 基礎がなければ問題は解けない！

このデータベースは、一般には“基礎”といわれる部分です。基礎がないと問題が解けないことは、上の例から具体的におわかりいただけることと思います。

数学の問題が解けないときは、自分は基礎をもっているかどうかをチェックし、ない基礎はただちに習得しなければなりません。

ただ、このどんな基礎がないのかは、自分で見つけることは、かなり困難な作業です。そんなときは、個人指導の塾で指導を受けるとよいでしょう。

## 数専ゼミの”基礎”指導

たとえば、数専ゼミでは、問題を解くときには「解法プロセス」を詳しく書かせるので、その答案を分析することで、どんな基礎がないのか、を見つけることができます。また、たりない基礎についてはただちに復習指導ができます。なぜならば、数専ゼミは数万枚におよぶ教材プリント(Database)をもっており、直ちに必要な教材を用意し、指導できるからです。問題集や映像を使って指導をしている塾では、このような個々人の学力の実際に応じた臨機応変な指導は不可能です。

数専ゼミで学習する教材については、こちらから実物サンプルをご覧になれます。→ [教材](#)

### 数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: [suusen@seagreen.ocn.ne.jp](mailto:suusen@seagreen.ocn.ne.jp)